

安全で快適な歯科治療のために活用したい「静脈内鎮静法」

藤沢ペリオ・インプラントセンター
雨宮啓先生 監修シリーズ
役立つ歯科麻酔学の知識

第6回 / 全8回



雨宮 啓 先生

藤沢歯科ペリオ・インプラントセンター
CDAC (Clinical Dental Anesthesiologist Club) 代表

東京歯科大学を卒業後、大学院生として歯科麻酔学を専攻。今現在、藤沢歯科ペリオ・インプラントセンターを開業して10年が経ちました。今の私があるのは、白鳥清人先生と、歯科麻酔学との出会いがあったことです。そこで今回、大学を卒業するとなかなか学ぶことのできない「臨床歯科麻酔学」の大切さを8回にわたって、お伝えしていきます。

胃 カメラでは当たり前となった
「静脈内鎮静法」

学生時代はスキー部に所属して、夏休みは月山スキー場で、冬休みは糠平温泉スキー場や志賀高原スキー場で練習に励み、3月に開催されるオールデンタルの大会に臨むという生活を送っておりました。そんな中、毎晩の練習後の懇親会ではビールや日本酒の差し入れを頂戴してお酒を飲むのですが、アルコールに弱い私は、何度、トイレに駆け込んだかわからないくらいお世話になり・・・特にオールデンタルの打ち上げでは、飲んだお酒をどれだけ出したかわからない状態です。

さすがに私の「胃」が悲鳴をあげたので、おそるおそる大学病院にある内科を受診することに。女性の内科教授が「雨宮さん、大丈夫だと思うけれど、念のため胃内視鏡検査をしましょうね」と。人生初となる胃カメラの検査を受けることとなりました。「こちらに横になって、最初に口の中に麻酔をします・・・そのまま深呼吸しててください」というあたりまで大丈夫でしたが、胃カメラが口に入ってから戻そうなのを我慢しながら涙目で検査を受けることに。「雨宮さんの胃の中とっても綺麗ですよ。ただ、お酒を飲むのを少し控えてくださいね！」と話しかけられたのも覚えていないくらい、気分が悪くなったのを昨日のように覚えています。



10数年の時を経て35歳くらいの時に健康診断で胃内視鏡検査を受けることに。学生時代の嫌な思いが頭をよぎったのですが、「雨宮さん、点滴で眠った状態で検査する方法があります」と提案を受け、私は静脈内鎮静下

での検査を選択しました。前回の検査とは打って変わって、快適な検査だったことは言うまでもありません。一方、私たちの歯科臨床の現場に目を向けると「今から歯を抜きますので、お口の中に注射しますよ」と、20年前の私が学生だった時代から何も変わっていないという事実に気づかされます。もし患者さんに「点滴で眠ったようなウトウトした状態で抜歯する方法もありますよ」と提案できたら、そして患者さんが「眠っている間に注射や抜歯も終わっていたので、とても快適でした」と感じていただけたら、歯科に対するイメージはガラッと変わるはずですよ。



安全で快適な歯科治療を提供する「静脈内鎮静法」

患 者さんは
「安全で快適な歯科治療」を望んでいる

私が胃カメラで嫌な思いをしたように、過去のトラウマや潜在的な意識から歯科治療に恐怖心を抱いている人の割合は全世界で5～20%と報告されています。2008年に示された日本人を対象とした論文では推定患者数は400万人程度と報告されておりましたが、2020年に日本歯科麻酔学会雑誌に掲載された論文によりますと、MDASを用いて歯科治療に恐怖心を有する割合を調べた結果、11.3%の日本人が歯科治療に対して恐怖心を有するというデータが示されました。日本人の人口割合で考えると約1400万人という結果であり、12年前の論文の3倍以上という、私の予想を上回る潜在的な患者数です。歯科治療の中でも一般的に治療を行っている歯周病治療ですが、どのくらいの患者さんを治療

しているのか調べてみますと、「平成29年患者調査の概況」によれば、歯周疾患患者数は398万3000人と報告されています。なんと、歯周病患者の3倍を上回る患者さんが「安全で快適な歯科治療」を望んでいる可能性があるということがわかります。

安 全で快適な歯科医療を
届けることのできる「静脈内鎮静法」

藤沢歯科には静脈内鎮静法を希望する患者が来院され、1年間に約900件(2019年実績:898件)の静脈内鎮静法を行っています。今まで何年も歯科治療ができなくて困っていた患者さんが「静脈内鎮静法で眠っているうちに歯科治療をしていただきとても快適でした。ありがとうございます！」と感謝していただけることは、歯科医師冥利につきるところです。そんな安全で快適な歯科医療を届けることのできる静脈内鎮静法ですが、見よう見まねで実施しようとすれば医療事故につながる可能性が高まりますし、知識と技術を身につけるには大学病院で3年程度の研鑽が必要となります。そこで私たち歯科麻酔科医のグループCDACでは、開業医の先生が『静脈内鎮静法』をより身近に活用できる医療連携サポート (<https://www.cdac-masui.com/>) を整えて、歯科麻酔科医とのチーム医療に取り組んでおります。多くの開業医の先生方に静脈内鎮静法を活用して頂いて、日本中の患者さんに安全で快適な歯科医療を届けたいと思っています。



歯科麻酔科医CDACとのチーム医療に取り組める